



最近はとても暑い！ポーポキは、友だちはお水が十分あることを確認します。
みなさんも、お水を十分とるようにしてくださいね。

Popoki's Hot News!



今年も原爆や核を考えるプログラムをします。

8月6日 08:00 生田川公園でお待ちしています。

その後、アメリカ とグアムの活動家とスカイプ！詳しくは、本号の10頁。



ポーポキのピース・ブック3や「ポーポキ友情物語
～東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅～」

ポーポキのピース・ブックシリーズの3冊目、『ポーポキ、
元気って、なに色?』や、ポーポキのほかの本は、お近
くの本屋さん、出版社エピック (<https://bookway.jp/epic/>)、
神戸 YMCA、ポーポキ・ピース・プロジェクトから入手で
きます。ご注文、およびご感想をお待ちしています。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのヴァネッサにゃんから届いた平和。

「私は安定を感じると平和の気持ちが出てくる。日本に来て最初の頃、い
つも知り合いと一緒にいてさびしいことはなかったけれど、いつも心配し
たり不安になったりしていました。本当に求めているのは、「これはさすが
にあんただ！」と言えるほど私のことを理解している親しい友だちです。
私にとって、心の平和を壊すのは孤独です。ときによっては一人であるこ
とが大好きですが、それは一人であることを選ばなかったときの孤独と全
く違います。私にとっての平和とは、場所はどこにあるかを問わず、愛する人々のところへ
帰ることができるってわかっているときです。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメー
ル [ronniandpopoki\(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメー
ル [ronniandpopoki\(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



灘チャレンジ 2015 のビデオ!!! ポーポキの URL か下記のリンクでどうぞ!

<https://youtu.be/7LcYzZzNQYg> and <https://youtu.be/WYdWwmwogkE>



ポーポキ・ピース・プロジェクト・Popoki Peace Project
10th Anniversary



ポー
ポ
キ・ピ

ース・プロジェクト創立 10 周年をどのように記念しましょうか？

- ポーポキ・ピース・プロジェクトができて10年。
- 4冊の絵本。たくさんのにゃん友だち。さまざまなワークショップ。スタディツアー。延べ約200メートルのポーポキ友情物語の布。
 - 数々の笑顔。
- 最初の10年をふりかえり、次の10年に向けるためにどうすれば良い？みんなの素敵なアイデアをお聞かせください。
 - 今まで出たアイデアはたとえば…
 - 新しいTシャツをつくる
 - グッズ（バッグ、帽子、クリアファイルなど）
 - ポーポキ郵便切手
 - 映画の上映会（原爆を中心？ちょっと高いものとか、数本とか？）
 - ポーポキを語り合うパーティーや合宿
- 子どもの権利条約フォーラム2016の分科会を立ち上げる

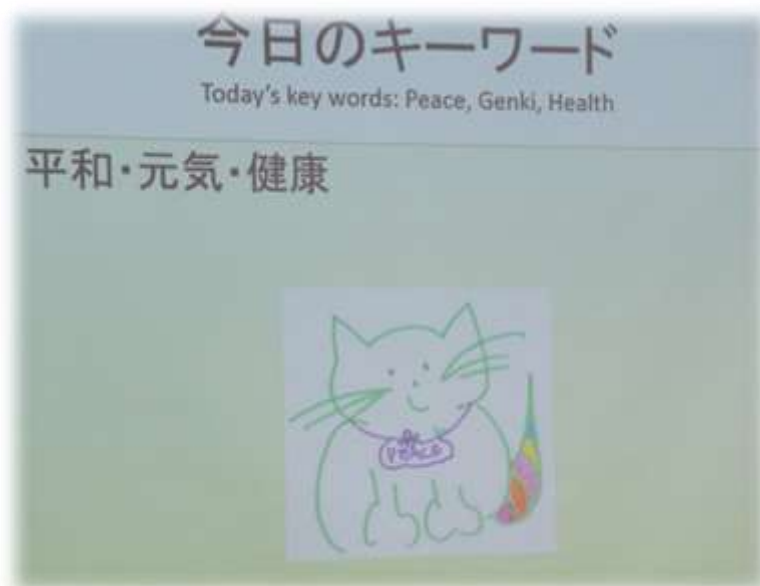


**あなたの提案は？ronniandpopoki@gmail.com へ
ぜひあなたの素敵なアイデアをお送りください！**



畿央大学ワークショップ報告

2016年6月11日に畿央大学にてワークショップを行いました。
このワークショップについて、4人の新人のにゃんが内容と感想を報告します。



これは、私が大学生対象のピース・プロジェクトに参加する初めての機会です。私にとってもまた畿央大学の学生さんたちにとっても新しい体験でした。私たちはプログラムを「ポガ」をすることから始めました。この方法は、学生さんたちがプログラムに参加することに対して効果的かつ柔軟性があると思います。わたしたち、にゃんもまた、学生さんたちと一緒に参加しました。ポーポキ・ピース・プロジェクトのコーディネーターのろにゃんは、プレゼンテーションをした後に、平和と発展に関する動画を見せました。プレゼンテーションとエクササイズ的时间里、ろにゃんは関連する元気/戦争/平和/健康/環境について説明しました。さらに、プレゼンテーションの後で、学生さんたちは多くのグループに分かれて、これらの問題についてお互いに意見を出し合いました。学生さんたちは自分たちの体を使って平和、健康、元気を表すいろいろな種類の彫刻を作りました。プログラムの最後では、グループで学生さんたちは平和についての彼らのイメージを描きました。お絵かきをすることによって、彼らは平和についてそれぞれが思っていることを説明しました。

私が畿央大学でのポーポキ・ピース・プロジェクトをして思ったことは、学生さんたちが心から楽しんでいただけたということです。彼らはグループで行うアクティビティが好きです。お絵かきの時間には、彼らは本当に平和の像について考えようとしていました。すべてのグループのお絵かきはとても似ていました。それは、彼らが思っていることが同じ次元の

ものであるということを意味します。動画やプレゼンテーションの時間の間学生さんたちを見ていて、彼らの表情からいくつかの情報がかれらにとって初めてであるということが分かりました。すべてのピース・プログラムがとてもよく、効果的なものでした。学生さんたちは楽しみ、そしてプログラムを正しく理解しました。わたしたち、にゃんもまた、学生さんたちと一緒に動いてとても楽しみました。今後機会があるならば、わたしたちは教育や環境をテーマにすることもできるでしょう。または、途上国や先進国との間にある平和の諸問題についても比較することができるよう。



by ちゃくまにゃん



畿央大学のポーポキ・プログラムで、私はとても楽しい時間を過ごしました。私ははじめてポーポキ・プログラムに参加したので、最初は緊張しました。ですが、私はすぐにリラックスしました。本を音読したり、学生さんたちとお話することがとてもおもしろかったからです。学生さんたちは、アクティビティ、特に「平和の庭園」を描くことを楽しんでいるようでした。学生さんたちの輝く笑顔を見て、またポーポキ・ピース・プロジェクトを通して平和を作る手助けができて、うれしかったです。

by やこにゃん



私はかつて中学生に向けて行うこのようなプログラムに参加したことがありましたが、大学生を対象にしたプログラムに参加するのは初めての経験でした。たくさんの大学生さんたちの前で話したり参加したりすることに、私もまたとても緊張していたと正直に言いたいです。しかしながら、数人の学生さんたちと話し合った後で、平和のプロセスは大学生さんたちにとってもまた本当に大切であると気づきました。最初は、ほとんどの学生さんたちがとてもはずかしがりやのように見えてましたが、ろにゃんが

学生さんたちに平和のゲームに参加するよう頼み、ドキュメンタリーの動画を見せたところ、学生さんたちはみんなはずかしそうな表情をしなくなり、その後、ディスカッションやお絵かきアクティビティに積極的に参加しました。さらに、私はまた学生さんたちみんなと一緒に楽しくミャンマー語で1から10までの数を数える機会を得ました。そういうわけで、畿央大学でのこのピース・プロジェクトは、私の生涯ですっと忘れられない平和の記憶の一つであり続けると思います。

b y ちゃんにゃん

畿央大学でポーポキプロジェクトに初めて参加しました。学生さんが彼らの体を使って平和/健康/元気を表す像を作る、というアクティビティなどは、ある学生さんたちにとって気恥ずかしいだろうし、参加しない学生さんもいるのではないかと思っていました。しかし実際は、みなさんが楽しんで参加してくれて、またとても上手に思い思いの像を表現してくれたと感じています。畿央大学のみなさんと一緒に、平和と私たちの生活について考えるととても良い時間を過ごせてよかったです。

b y はずにゃん



ポーポキ in 熊本

7月9日から10日まで、ポーポキはさとにゃん、もちにゃん、みおにゃんとろにゃんと一緒に熊本へ行きました。目的は、4月に立て続けに二つの大きな地震を受けた益城町の人々と友だちになることと、震災の実態を見て、感じて、そして学ぶことです。もちろん、戻ってきたポーポキは学んだことを広く共有することや今後の協力を企画することなど、できることを続けたいと思っています。

さとにゃん



瓦礫の山に見える崩れた家が続く道。発災から3ヶ月たっても、未だ多くの家がそのままに残されていました。やはり、21年前の神戸を思い出してしまいます。

益城町総合体育館。その裏に建つ『よかましきハウス』は避難所の人たちが自主的に活動を始めて貰うためのスペースとして作られ、避難所になっている図書館の本もこちらで貸し出しされていました。ここで、ポーポキのワークショップも行

われました。図書館のプログラムの読み聞かせの後、ポーポキの本の読み聞かせ。勿論参加者の方にも読んでもらいます。食い入るようにポーポキの絵本を見つめて聞いていた5歳ぐらいの男の子が、途中で止めると、もう読まないの？と聞いてきました。ポガで身体のリラックス。色とりどりの紙テープを使ったり、安心を考えたり、友情物語にみんなの物語を加えたり。よかましきハウスの副館長さんが、熊本人は人見知りで、他の所の人がいきなり来ても本音は言わないと言われましたが、ワークショップが進むにつれ、色々な話しをして、参加されて



ポガは楽しかった！

いる方の表情がどんどん明るく変わっていきます。最後にはみんなポーポキの友だちになってくれました。ここでも、ポーポキは存分にその実力を発揮したようです。



益城町図書館やよかましきハウスのスタッフも参加してくれた

図書館に4冊のポーポキの本を置いて貰うことにしました。きっと、あの男の子も読んでくれるかな。



益城まし総合体育館にポーポキのポスターを発見！

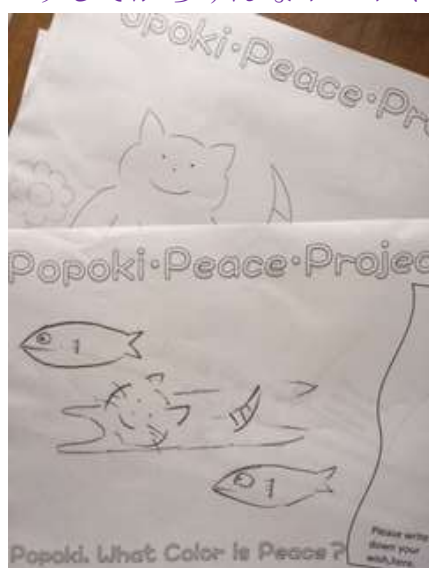
今回は、避難所のとなりにできた「よかましきハウス」という避難されている人が企画などに使うための集会所でワークショップをすることがメインでした。それ以外に避難所でお手伝いをさせていただきました。避難所の指定管理を請け負っている熊本 YMCA をはじめ、ポーポキは全国の YMCA に友だちがいます。熊本 YMCA の許可を得て、避難所でプログラムをするポーポキはあちらこちらの YMCA から応援に来ていた友だちにも会うことができ、とてもうれしかったです。現在も 800 人以上の人々が避難や車泊されている益城町総合体育館の運営は大変だろうと思いました。しかし、非難されている方々に対する配慮、とりわけ子どもたちに対する配慮に YMCA らしさを感じて、安心しました。

今回の受け入れを含めて、YMCA のみなさん、ありがとうございます！

さとにゃんの報告のとおり、益城町総合体育館のとなりに図書館があり、それも避難所になっているため、貸し出しは休業しています。本の貸し出しは定期的によかましきハウスで行っており、ちょうど私たちが行ったときもその時間帯でした。うれしいことに図書館の方々は「お話会」もされていて、三つの絵本のあと、みんなでポーポキの絵本を読むことができました。小さな子どもも中学生もおとなもみんなポーポキの友だちになり始めました。その後は、ポガしたり、紙テープやみんなの体を使って気持ちを表したり、お話ししたりしてからみんなポーポキ友情物語に絵や文章を描きました。震災から 3 か月も経とうとしている今、心に溜まっていることを少しでも出せるようなプログラムがしたいと思っていたのですが、ワークショップが進むうちにみんなの気持ちで色とりどりにになりました。黒にこだわる人もいたり、さわやかな色が良いと言ったり・・・。ポーポキ、ありがとう！今回もがんばってくれましたね。ポーポキの本を 1 セット益城町図書館においていきました。益城の人はこれからもいつでもポーポキに会えるように。そして、もう一か所でポーポキに会えると思います。それは、ポーポキの友だち、たいにゃんが子どもたちのためにつくったポーポキの塗り絵に子どもたちがとても喜んだので、益城町体育館のキッズルームにおいていきました。



お話を聞くポーポキメンバー



たいにゃんのぬり絵が大人気！

その日の晩ごはんはと次の日の朝ごはんを配る手伝いをさせていただきました。夜はお弁当やパン、牛乳。朝はおにぎりやパン、牛乳。声をかけたり、笑顔を見せたりするとみんなの食欲が少しでも湧くかなと思いながら配りました。しんどい時は、食べ物も大切ですが、笑顔も大事ですね。

益城町総合体育館に未だに約 800 人が避難されています。そして、体育館の駐車場にたくさんの方々が車で寝泊まりしています。そして、犬・ねこのための専用避難施設にたくさんわんにゃんがいます。震災によって壊された家の調査や手続きが思うように進まない人、次のステップにまだ踏み込むことができない人、どうしたら良いかわからない人、さまざまな人がいます。彼らの生活が一日も早く落ち着くように祈っています。



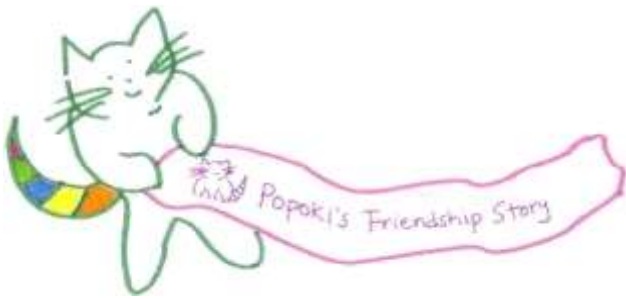
橋が本当に消えてしまった！

YMCA の好意で最も被害があった益城町や南阿蘇、熊本市内を案内していただきました。壊れた家がむき出しになったままの通りを見ると、21 年前の阪神・淡路大震災を思い出しました。息が詰まる。胸が痛い。夢にも出てくる。地震は本当に怖い。どうすればみんなが安心できるのかな。最後に案内されたのは大きな被害を受けた熊本城。瓦がとれた場所から草が顔を出したり、壁が崩れ落ちたりしていて、見ていると本当に悲しくなります。

同時に複雑な気持ちになりました。メディアは熊本のシンボルである熊本城を中心に報道するため、その周辺に大きな被害を受けている人々のことは関西にいると見えてきません。

阿蘇神社や熊本城を見ながら思ったことは、これはたった一つの文化遺産だけど、傷つけられたことに深い悲しみを感じます。そこでアレppoの報道写真を思い出しました。戦争によって数々の文化遺産が破壊された場所だったら、どんな気持ちだろう？震災は人間の力で影響を緩和することがある程度できるかもしれませんが、止めることができない。けれど、戦争は違う。戦争はしなければ戦争にはならない。熊本城などの文化遺産を修理するには億単位のお金がかかりそうですが、精神的な意味はあるでしょう。東日本大震災、広島などの水害、熊本地震などの災害によって生活が乱されまだ立ち直っていない人々がたくさんいる中、日本という国は優先順位をどうすれば良いのでしょうか。憲法改正、戦争の準備やオリンピック開催ではなく、一般の人々の生活の方が大事だと痛感しました。今一度考えてみよう。人間の力は破壊することから再生することに焦点を変えよう。





Popoki's Interview

話し手 岩間 望 牧師

聞き手 きよにゃん

私、(きよにゃん 以下きよ)が、5月に熊本地震でボランティア活動に参加した時に現地で出会った方へインタビューを行いました。その方は、山口でキリスト教の牧師をされている方でした。現在に至るまでに、何度も熊本でボランティア活動に参加され、現在も現地で活動されている。そんな中、時間を割いて頂き、今回の地震についてお伺いしました。



きよ：今回の熊本地震はどのように感じましたか？



岩間 望(いわま のぞむ)、以下 望さん：被災した人のことを思うとつらいですが、だからこそ今、僕たちは何をしていくのか。このマイナスもプラスにできないかと思っていました。

きよ：どうして今回の熊本地震でボランティア活動に参加しようと思われたのですか？

望さん：実際に行かないと情報も具体的な助けもできないので。そのときだけではなく長期的に助けることができるためにも実際に行く必要があると思って参加しました。

きよ：これから、熊本地震に対してどのような形で接していきたいと思っていますか？

望さん：現地の様子や助けの必要性や、感じたことをシェアしています。可能な限り自分自身も、また熊本にボランティアに行こうと思っています

きよ：最後に、今回のボランティア活動で得た経験や教訓があれば教えてください。

望さん：ボランティアに関わったおばあちゃんが言っていました。

「世界で花よりも美しいのは人の心だ。それが今回の地震で知識だけではなくわかった。」

助けること、与えることは何も与えるほうが負担していくことだけではないと思います。

ボランティアに参加したり、実際にいろんなことを通じて助ける、与えることを通じて僕たちもいろんなことをいただいていることを体験しました。 オススメです。

今回は、現地での活動中の中、ありがとうございました。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 98

今月のテーマは、首や肩のリラックス！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. さて、左手であたまを左の方へ優しくびっばってみましょう。角度を少し変えてみるといいかもしれないね！左側が終わったら、右の方も試してみてくださいね。
3. 次は、両手を頭のうしろにおいて、頭を優しく前へ。これも角度を変えると良いですね。肩に力がはいらないように注意しましょう。
4. そして、肩をあげて！もっとあげて！さらにあげて！おとす！耳の横、耳の少し後ろなど、いろいろなストレッチを楽しんでね。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？

次回のポー会： 9月2日 19:00～ 神戸 YMCA

- * 8.6 ヒロシマ・ナガサキを考える ダイイン&スカイイベント 。8:00 生田川公園 あずま屋北側の川付近で集合。ダイインなど。(新神戸駅南・神戸市バス2系統・92系統「布引」下車。) 9:00前からアメリカ、グアムの活動家とスカイプで核問題について話し合う。どなたでもOK。
- * 8.8 ポーポキ at 第13回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー。問い合わせ先:078-261-0384
- * 10月半ば ポーポキの平和と健康ワークショップ 兵庫医療大学(予定)
- * 10月26日 ポーポキat網干高校 ワークショップ
- * 11月3日 ポーポキ at トロント・ヨーク大学 (予定)
- * 11月7日 ポーポキ in ピッツバーグ



ポーポキの友だちからのお知らせ

- 7.28「7月28日を子どもの命を守る日に」主催。「都賀川水難事故犠牲者をしのぶ会」都賀川公園（「グルメ シティ灘」の東側、甲橋付近）。問い合わせ先:090-2704-0546
- 新刊案内！赤城修司『Fukushima Traces 2011-2013』オシリス 2015年3月20日。
すてきな写真集です。注文などは、下記のサイト又は前田圭子さんへ。

m.dodo@h2.dion.ne.jp <http://www.shashasha.co/en/book/fukushima-traces-2011-2013/>

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー：<http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ！ <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』（貝原加奈 2014.4.25 28面）
- 「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』（2013.8.23 朝刊 地域経済 8面）
- 「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う」『神戸新聞』（2013.8.7 朝刊 22面）
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』（2013.2.16 夕刊 4面）
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29（「今、平和を語る」、夕刊、1面）
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO：66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21（兵庫・29面）
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19（伝える 1・17 3・11、22面）
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの』（連載）とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ：こくさいのまで⑮(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界：被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』（日本汎太平洋東南アジア婦人協会）No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243（関西外大通信）
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6（北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」）「新刊紹介：『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（レベッカ・ジェニスン） p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」（斎藤雅志）神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」 KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」 RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8（アジア女性交流・研究フォーラム）
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」 Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり 6名がパネル制作」2008.10.8 10面





私にとってのポーポキ

もりにゃん（東恭子）

今年で10周年を迎えるポーポキ・ピース・プロジェクト。10年前、わたしは学生だった。ポーポキは、社会人となったわたしにも、さまざまな出会いと考える機会を与え続けている。パレスチナにいったのは、転職してまだ試用期間のときだったなあ。大鎚で大切なポーポキメンバーができたことも、最近の活動を通じて得ることができた、とても嬉しい出来事のひとつだ。10年の間には、わたしも一時期活動から少し遠のいていた時期もあった。それでも、いつでもポーポキはわたしの傍にいたように思う。

わたしがポーポキを好きな理由のひとつに、メンバーの個性が生かされる活動だと思うからだ。メンバーには、留学生や多様な年齢層も参加して活動をともしにする。いつも会うメンバーでないので、はじめまして、と言いつながら協力しあう。言葉の壁や初対面での活動は、反省点や課題を感じることも多いこともある。けれども、一方でチームワークの良さや、それぞれのメンバーが持つ柔軟さや人柄の力が思いがけず発揮され驚かされる場面にもたくさん出会う。メンバーの豊かな能力に気づくことができるのは、ポーポキならではのわたしは思う。相手の可能性や自分の可能性を感じることは、平和かもしれない。



わたしにとってのポーポキは、お互いの可能性を感じたり、気づいたりできる仲間であり場所だ。そのときでいろいろなことに気づかせてくれるポーポキだが、10年目のいま、わたしはそんなことを感じている。ありがとう、ポーポキ、と言いたい。そして、これからもよろしくにゃん。

余談だが、10年目にわたしは結婚し東（ひがし）となり、もりにゃんではなくなるのか？！問題が一時発生した。わたしはここで永遠のもりにゃん宣言をし、これからの活動も楽しくやっていきたいと思う。





ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック 3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動が続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一円 1500円 何円でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!